2017 年 9 月 29 日

岡山県感染症週報 2017 年 第 38 週（9 月 18 日 ～ 9 月 24 日）

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

◆2017 年　第 38 週（ 9 / 18 ～ 9 / 24 ）の感染症発生動向（届出数）

■全数把握感染症の発生状況

第 36 週　5 類感染症　カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症　1 名（70 代　男）
　　劇症型溶血性レンサ球菌感染症　1 名（80 代　男）
　　梅毒　1 名（20 代　男）
第 37 週　2 類感染症　結核　3 名（20 代　男　1 名、30 代　男　1 名、70 代　男　1 名）
　　3 類感染症　腸管出血性大腸菌感染症　1 名（O157：80 代　女）
　　5 類感染症　カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症　1 名（80 代　男）
　　後天性免疫不全症候群　1 名（50 代　男）
　　梅毒　3 名（20 代　男　2 名、40 代　男　1 名）
　　播種性クリプトコックス症　1 名（80 代　女）
第 38 週　2 類感染症　結核　1 名（50 代　女）
　　5 類感染症　カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症　1 名（90 代　女）
　　梅毒　2 名（40 代　男　1 名・女　1 名）

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：インフルエンザ定点 84、小児科定点 54、眼科定点 12、STD 定点 17、基幹定点 5

○RS ウイルス感染症は、県全体で 131 名（定点あたり 2.83 → 2.43 人）の報告があり、前週より減少しました。

---

1. 腸管出血性大腸菌感染症は、第 37 週に 1 名の報告があり、2017 年第 38 週まで（～9/24）の報告数は 54 名となりました。手洗いなどを徹底するとともに、食品は冷蔵庫で保存し、調理後はできるだけ速やかに食べる、食肉は中心部まで十分に火を通すなどの食中毒対策を励行し、感染予防に努めましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『腸管出血性大腸菌感染症注意報　発令中!』をご覧ください。

2. ＲＳウイルス感染症は、県全体で 131 名（定点あたり 2.83 → 2.43 人）の報告があり、前週より減少しました。患者数は減少したものの、過去 10 年間の同時期と比較して最も多くなっています。地域別では美作地域（4.67 人）、倉敷市（4.18 人）、岡山市（2.64 人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、真庭地域を除く全ての地域で患者が報告されています。県内の発生状況など、詳しくは、「**今週の注目感染症**」をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↗	★	RSウイルス感染症	↘	★★★★
咽頭結膜熱	↗	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	★
感染性胃腸炎	↘	★★★	水痘	↘	★
手足口病	↘	★	伝染性紅斑	→	★
突発性発疹	→	★	百日咳	↓	
ヘルパンギーナ	↘	★	流行性耳下腺炎	↘	★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	↗	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	↑	★	クラミジア肺炎	→	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	→	＊感染性胃腸炎（ロタウイルス）については、2013 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

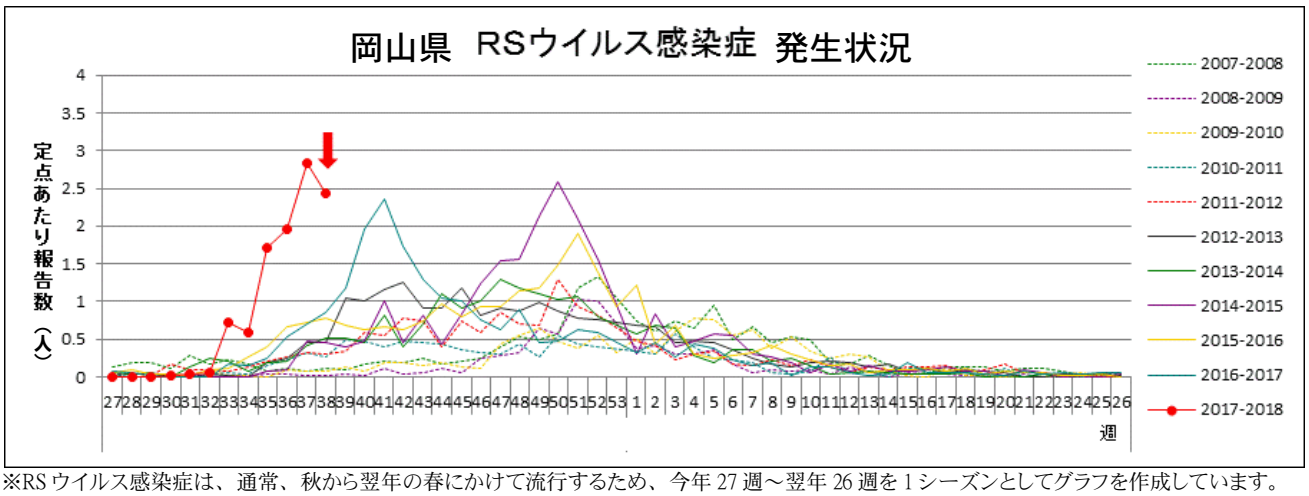
【記号の説明】 前週からの推移：　↑：大幅な増加　↗：増加　→：ほぼ増減なし　↓：大幅な減少　↘：減少
大幅：前週比100%以上の増減　　増加･減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。（発生数が多いことを示すものではありません。）
空白：発生なし　★：わずか　★★：少し　★★★：やや多い　★★★★：多い　★★★★★：非常に多い

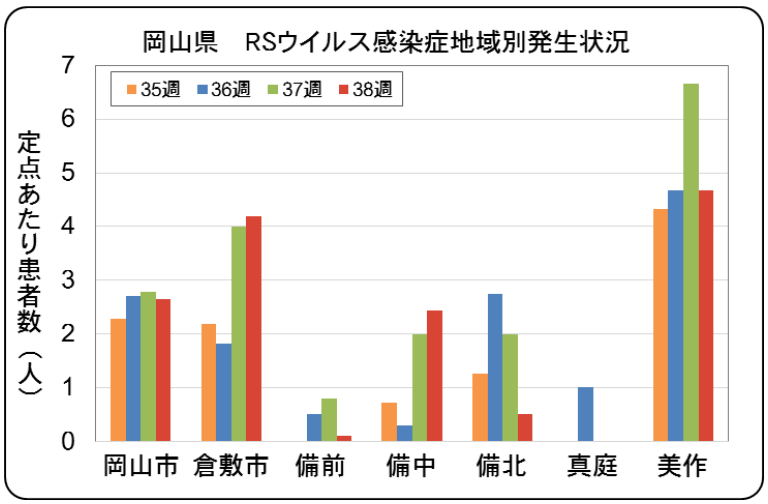
今週の注目感染症

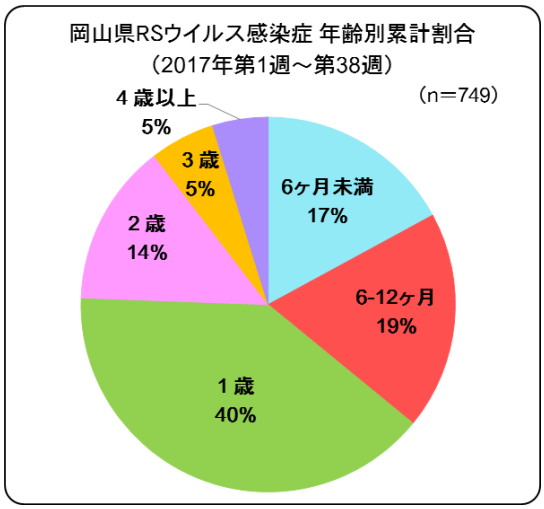
ＲＳウイルス感染症

【岡山県の発生状況】



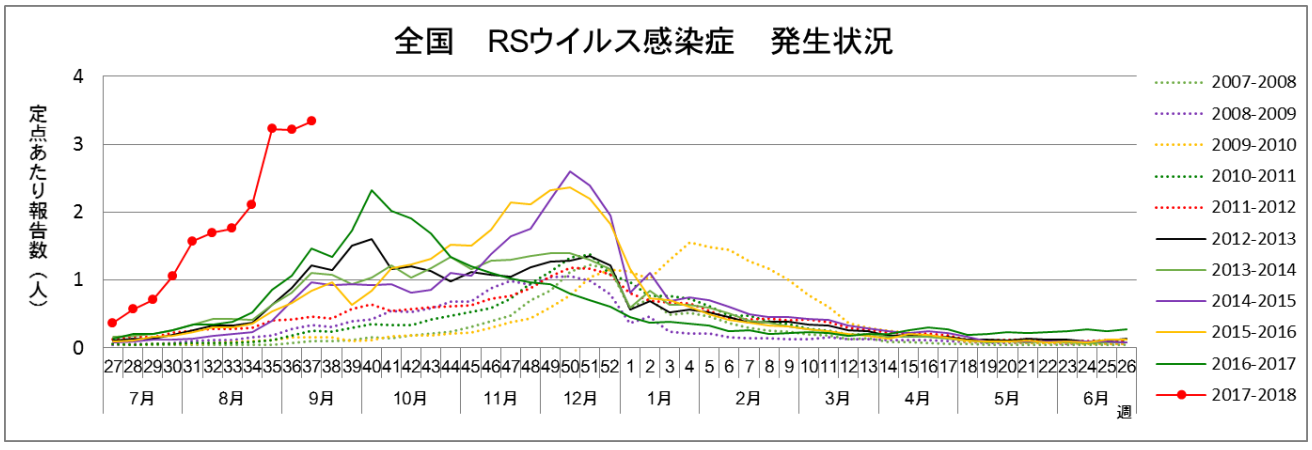
※RS ウイルス感染症は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週～翌年 26 週を 1 シーズンとしてグラフを作成しています。

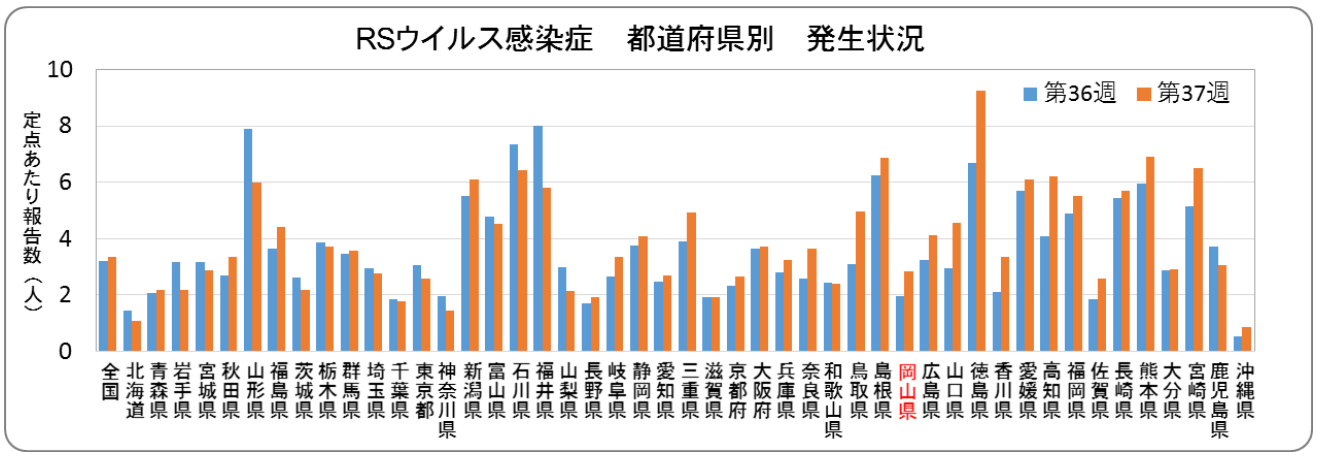




RS ウイルス感染症は、県全体で 131 名（定点あたり 2.83 → 2.43 人）の報告があり、前週より減少しました。患者数は減少したものの、過去 10 年間の同時期と比較して最も多くなっています。地域別では、美作地域（4.67 人）、倉敷市（4.18 人）、岡山市（2.64 人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、真庭地域を除く全ての地域で患者が報告されています。年齢別累計割合では、1 歳以下の乳幼児が全体の 76%を占めています。例年、秋から冬にかけて多くの患者が報告されています。ひきつづき県内の発生状況に注意するとともに、特に重症化しやすい乳児がいる家庭では、感染予防に努めてください。

【全国の発生状況】





全国の第 37 週（9/11 ～9/17）の発生状況は、定点あたり報告数が 3.34 人であり、第 35 週（8/28～9/3）からほぼ横ばいとなっています。患者数の大きな増加はみられませんが、過去 10 年間で最も多い状態です。都道府県別では、徳島県（9.26 人）、熊本県（6.90 人）、島根県（6.87 人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、近隣県でも多くの患者が報告されています。

IDWR 速報データ 2017 年第 37 週（国立感染症研究所）

【RS ウイルス感染症とは】

RS ウイルス感染症は、RS ウイルスによる急性呼吸器感染症です。感染後 2～8 日の潜伏期間を経て、発熱、鼻汁、咳などの風邪様症状が現れます。約 7 割の乳児が 1 歳になるまでに RS ウイルスに感染し、そのうちの約 3 割で肺炎や細気管支炎といった重篤な症状がみられます。母体からの移行抗体では感染を防ぐことができないため、生後 6 ヶ月以内に RS ウイルスに感染した場合は、重症化し入院を必要とすることもあります。熱が下がっても症状が改善せず、ゼーゼーとのどが鳴るなどの呼吸器症状があるときは、早めに医療機関を受診してください。年齢を問わず、生涯にわたり感染と発症を繰り返しますが、通常は年齢が上がるにつれて重症化しにくくなります。

【感染経路】

感染している人の咳やくしゃみ、または会話をした際に飛び散るしぶきを浴びてウイルスを吸い込むことや、ウイルスがついている手指や物品を触ったり、なめたりすることによる間接的な接触で感染します。

【乳児への感染予防】

乳児期を過ぎると、RS ウイルスに感染しても軽症となり、感染していることに気づかずに、乳児にうつしてしまうことがあります。そのため、咳などの呼吸器症状がある人は、可能な限り 1 歳未満の乳児との接触を避けることが感染拡大の防止につながります。風邪をひいたと思ったらマスクをする、鼻をかんだ後はしっかりと手を洗う、乳児が使うおもちゃなどは消毒用アルコールで拭くなど、乳児への感染予防に努めましょう。現在、RS ウイルス感染症に有効なワクチンはありません。

【治　療】

特効薬はないため、症状に応じた対症療法を行います。

RS ウイルス感染症とは（国立感染症研究所）
RS ウイルス感染症に関する Q&A（厚生労働省）

保健所別報告患者数　2017年 38週(定点把握)　　(2017/09/18～2017/09/24)　　2017年9月28日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	5	0.06	1	0.05	－	－	－	－	－	－	1	0.17	3	1.00	－	－
RSウイルス感染症	131	2.43	37	2.64	46	4.18	1	0.10	17	2.43	2	0.50	－	－	28	4.67
咽頭結膜熱	12	0.22	7	0.50	3	0.27	－	－	－	－	－	－	－	－	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	0.54	9	0.64	13	1.18	1	0.10	2	0.29	3	0.75	－	－	1	0.17
感染性胃腸炎	263	4.87	68	4.86	61	5.55	69	6.90	8	1.14	18	4.50	8	4.00	31	5.17
水痘	8	0.15	3	0.21	1	0.09	－	－	2	0.29	－	－	－	－	2	0.33
手足口病	77	1.43	36	2.57	27	2.45	6	0.60	4	0.57	－	－	－	－	4	0.67
伝染性紅斑	1	0.02	－	－	1	0.09	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
突発性発疹	15	0.28	7	0.50	4	0.36	2	0.20	－	－	－	－	－	－	2	0.33
百日咳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	9	0.17	5	0.36	4	0.36	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性耳下腺炎	8	0.15	1	0.07	4	0.36	1	0.10	－	－	－	－	－	－	2	0.33
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					－	－
流行性角結膜炎	8	0.67	5	1.00	1	0.25	1	1.00	1	1.00					－	－
細菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎	2	0.40	－	－	1	1.00					1	1.00	－	－	－	－
クラミジア肺炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－

(－ :　0　or　0.00)　　(空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数　2017年 38週（発生レベル設定疾患）　（ 2017/09/18～2017/09/24 ）　2017年9月28日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	5	0.06	1	0.05	－	－	－	－	－	－	1	0.17	3	1.00	－	－
咽頭結膜熱	12	0.22	7	0.50	3	0.27	－	－	－	－	－	－	－	－	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	0.54	9	0.64	13	1.18	1	0.10	2	0.29	3	0.75	－	－	1	0.17
感染性胃腸炎	263	4.87	68	4.86	61	5.55	69	6.90	8	1.14	18	4.50	8	4.00	31	5.17
水痘	8	0.15	3	0.21	1	0.09	－	－	2	0.29	－	－	－	－	2	0.33
手足口病	77	1.43	36	**2.57**	27	**2.45**	6	0.60	4	0.57	－	－	－	－	4	0.67
伝染性紅斑	1	0.02	－	－	1	0.09	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
百日咳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	9	0.17	5	0.36	4	0.36	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性耳下腺炎	8	0.15	1	0.07	4	0.36	1	0.10	－	－	－	－	－	－	2	0.33
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					－	－
流行性角結膜炎	8	0.67	5	1.00	1	0.25	1	1.00	1	1.00					－	－

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル３
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル２　　を示しています。

（－：　0　or　0.00 ）　　（ 空白 ： 定点なし ）

感染症発生動向調査　週情報　　報告患者数　年齢別　　（ 2017年　第38週　 2017/09/18～2017/09/24 ）

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	2	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	131	20	23	52	27	4	4	-	-	-	-	1	-	-	-
咽頭結膜熱	12	1	2	5	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	-	-	2	-	4	5	6	3	1	2	2	1	-	3
感染性胃腸炎	263	10	31	51	30	21	16	17	15	7	3	11	15	6	30
水痘	8	-	-	1	1	-	1	-	-	2	-	1	1	1	-
手足口病	77	-	3	22	16	13	7	2	3	4	2	2	1	2	-
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	15	-	7	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	9	-	-	3	1	2	-	2	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	8	-	-	-	-	1	2	-	1	1	1	1	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	-	-	2	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-

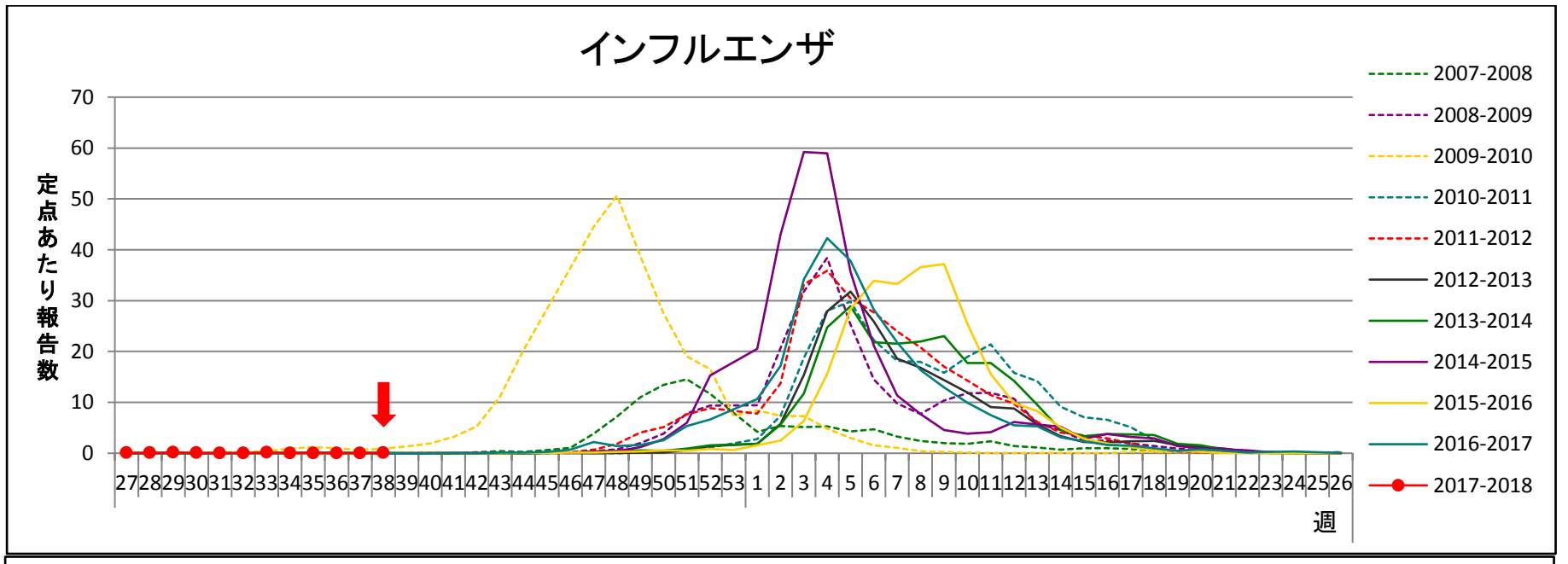
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

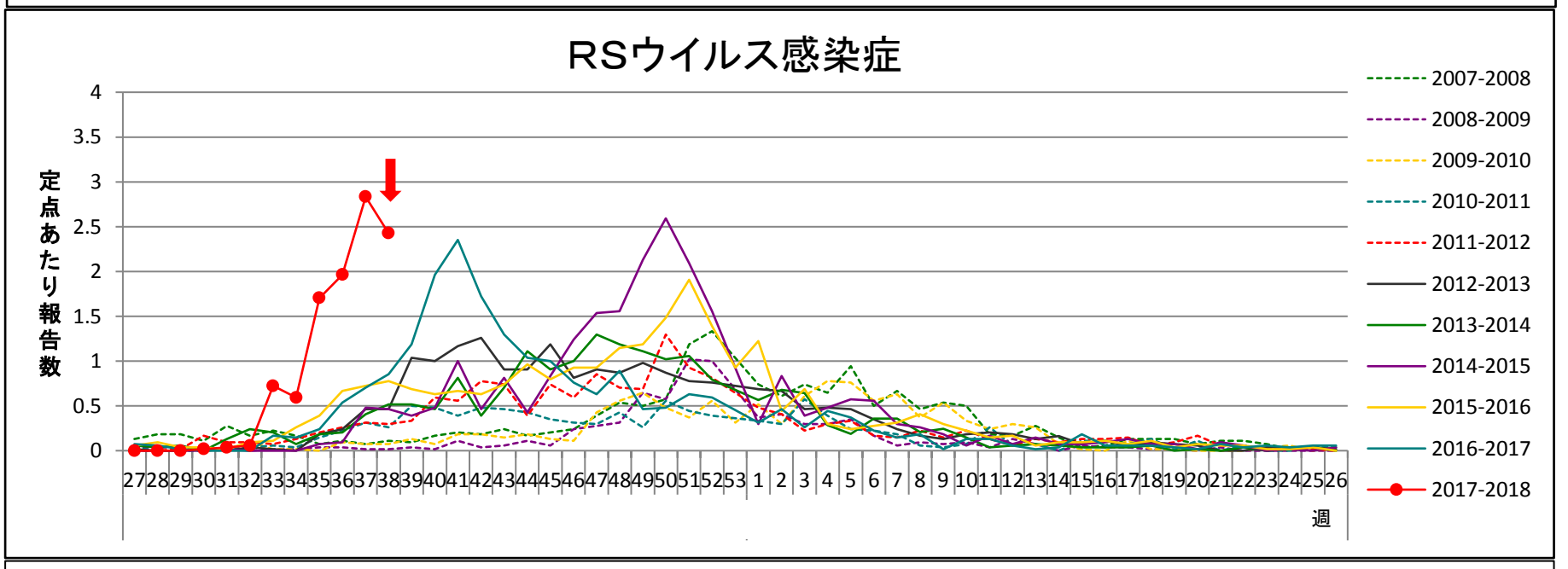
（－： 0 ）

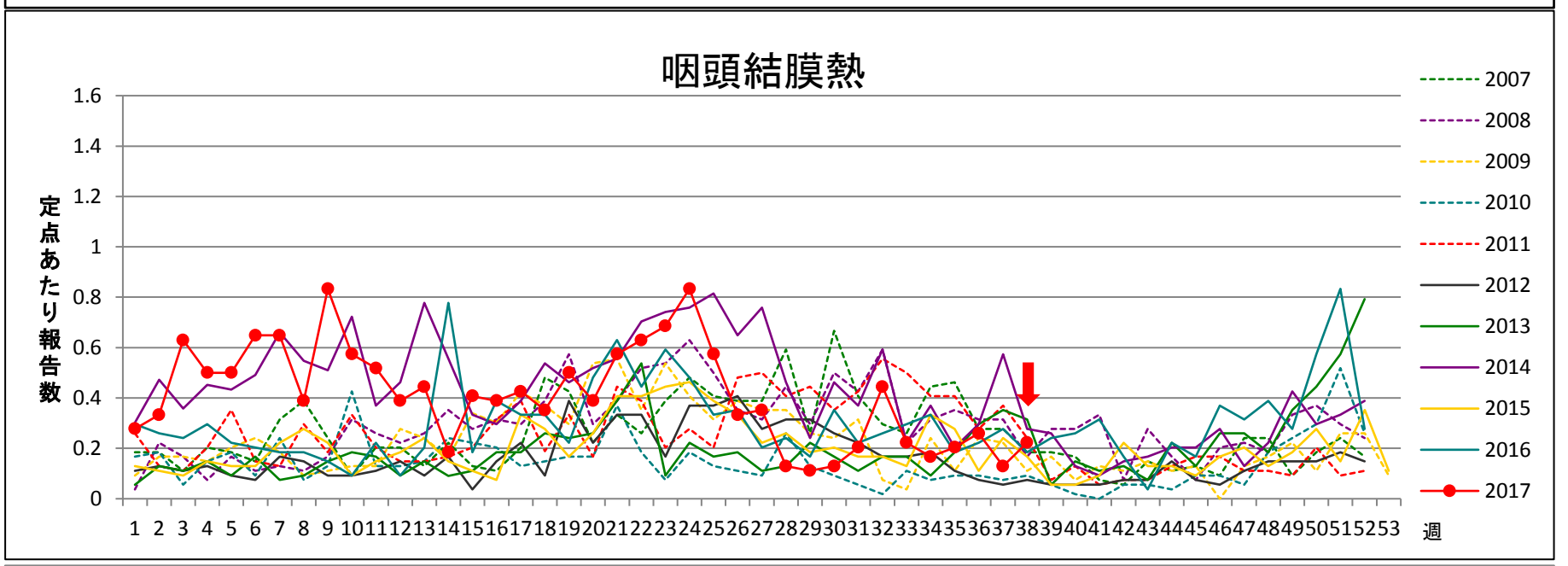
全数把握 感染症患者発生状況

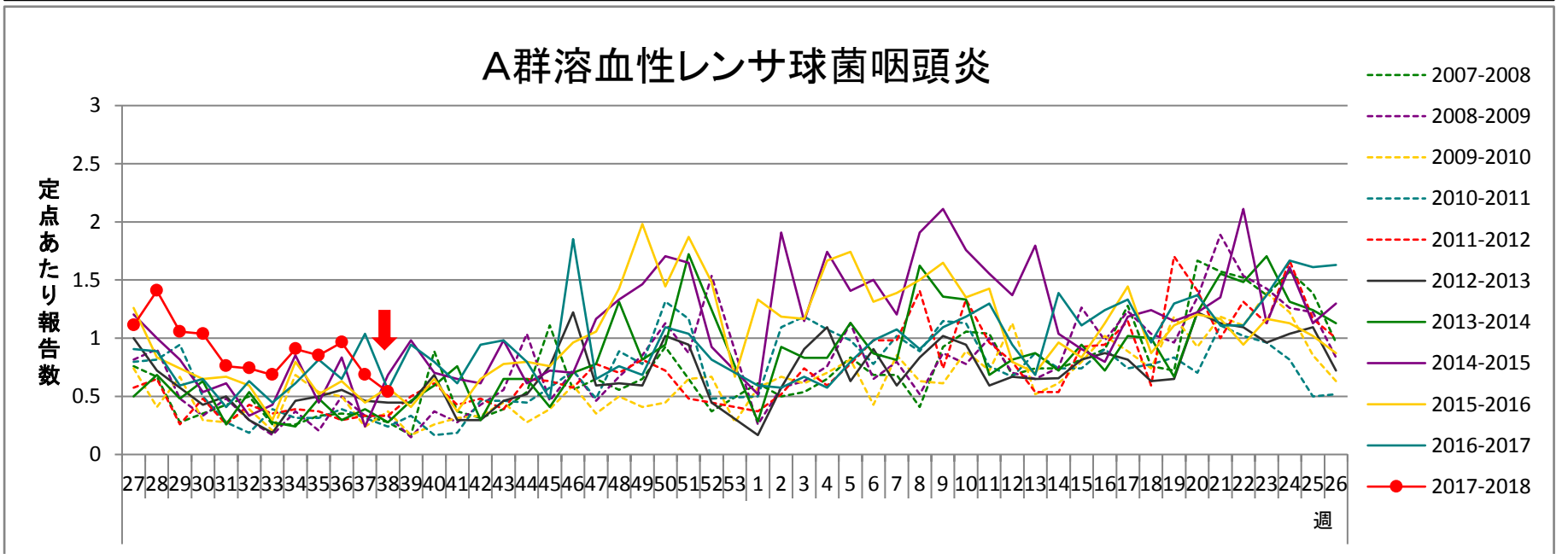
2017 年 38 週

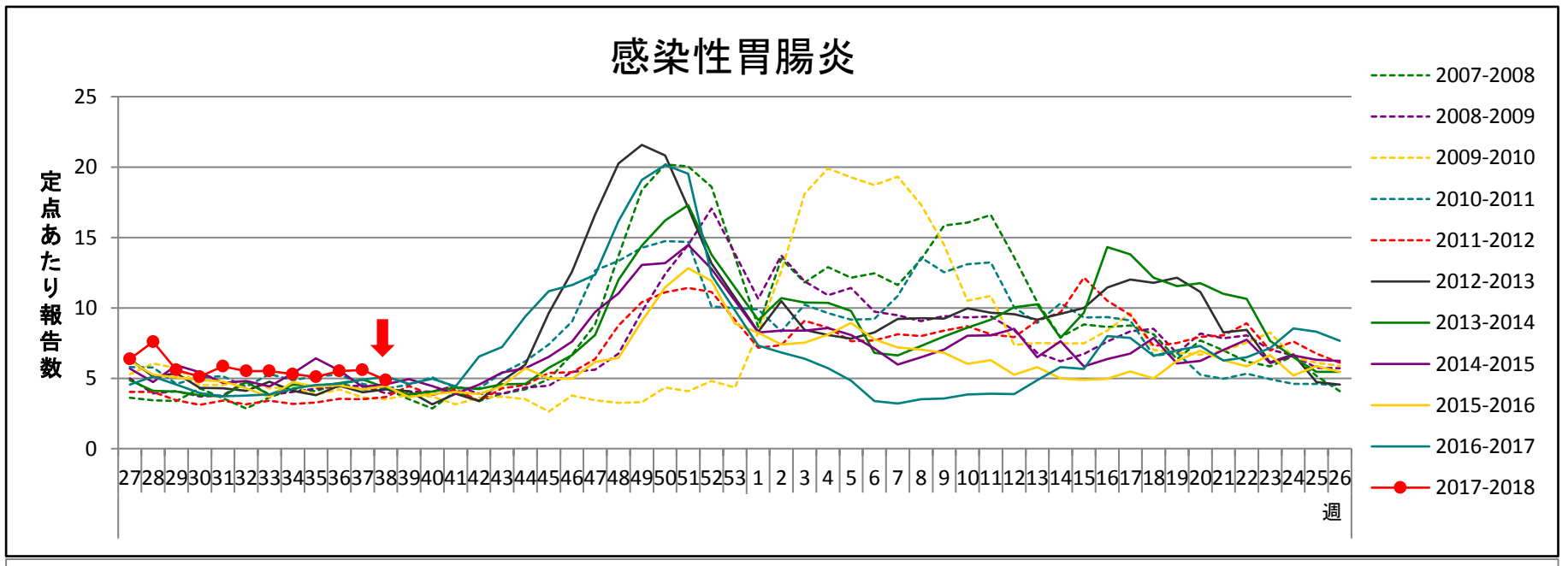
分類	疾病名	2017 今週	2017 累計	2016 昨年	疾病名	2017 今週	2017 累計	2016 昨年	疾病名	2017 今週	2017 累計	2016 昨年
一類	エボラ出血熱	–	–	–	クリミア・コンゴ出血熱	–	–	–	痘そう	–	–	–
	南米出血熱	–	–	–	ペスト	–	–	–	マールブルグ病	–	–	–
	ラッサ熱	–	–	–		–	–	–		–	–	–
二類	急性灰白髄炎	–	–	–	結核	1	255	311	ジフテリア	–	–	–
	重症急性呼吸器症候群	–	–	–	中東呼吸器症候群	–	–	–	鳥インフルエンザ（H5N1）	–	–	–
	鳥インフルエンザ（H7N9）	–	–	–		–	–	–		–	–	–
三類	コレラ	–	2	–	細菌性赤痢	–	1	–	腸管出血性大腸菌感染症	–	54	65
	腸チフス	–	1	–	パラチフス	–	–	–		–	–	–
四類	E型肝炎	–	1	2	ウエストナイル熱	–	–	–	A型肝炎	–	4	3
	エキノコックス症	–	–	–	黄熱	–	–	–	オウム病	–	–	–
	オムスク出血熱	–	–	–	回帰熱	–	–	–	キャサヌル森林病	–	–	–
	Q熱	–	–	–	狂犬病	–	–	–	コクシジオイデス症	–	–	–
	サル痘	–	–	–	ジカウイルス感染症	–	–	–	重症熱性血小板減少症候群	–	–	1
	腎症候性出血熱	–	–	–	西部ウマ脳炎	–	–	–	ダニ媒介脳炎	–	–	–
	炭疽	–	–	–	チクングニア熱	–	–	–	つつが虫病	–	–	2
	デング熱	–	1	1	東部ウマ脳炎	–	–	–	鳥インフルエンザ	–	–	–
	ニパウイルス感染症	–	–	–	日本脳炎	–	–	1	日本紅斑熱	–	4	5
	ハンタウイルス肺症候群	–	–	–	Bウイルス病	–	–	–	鼻疽	–	–	–
	ブルセラ症	–	–	–	ベネズエラウマ脳炎	–	–	–	ヘンドラウイルス感染症	–	–	–
	発しんチフス	–	–	–	ボツリヌス症	–	–	–	マラリア	–	–	–
	野兎病	–	–	–	ライム病	–	–	–	リッサウイルス感染症	–	–	–
	リフトバレー熱	–	–	–	類鼻疽	–	–	–	レジオネラ症	–	18	26
	レプトスピラ症	–	–	–	ロッキー山紅斑熱	–	–	–		–	–	–
五類	アメーバ赤痢	–	18	18	ウイルス性肝炎	–	5	4	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	1	12	28
	急性脳炎	–	3	11	クリプトスポリジウム症	–	–	–	クロイツフェルト・ヤコブ病	–	2	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	–	7	8	後天性免疫不全症候群	–	13	12	ジアルジア症	–	–	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	–	1	7	侵襲性髄膜炎菌感染症	–	–	–	侵襲性肺炎球菌感染症	–	28	32
	水痘（入院例に限る。）	–	3	3	先天性風しん症候群	–	–	–	梅毒	2	120	40
	播種性クリプトコックス症	–	1	2	破傷風	–	–	4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	–	–	–
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	–	4	1	風しん	–	–	–	麻しん	–	–	–
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	–	–	–		–	–	–		–	–	–

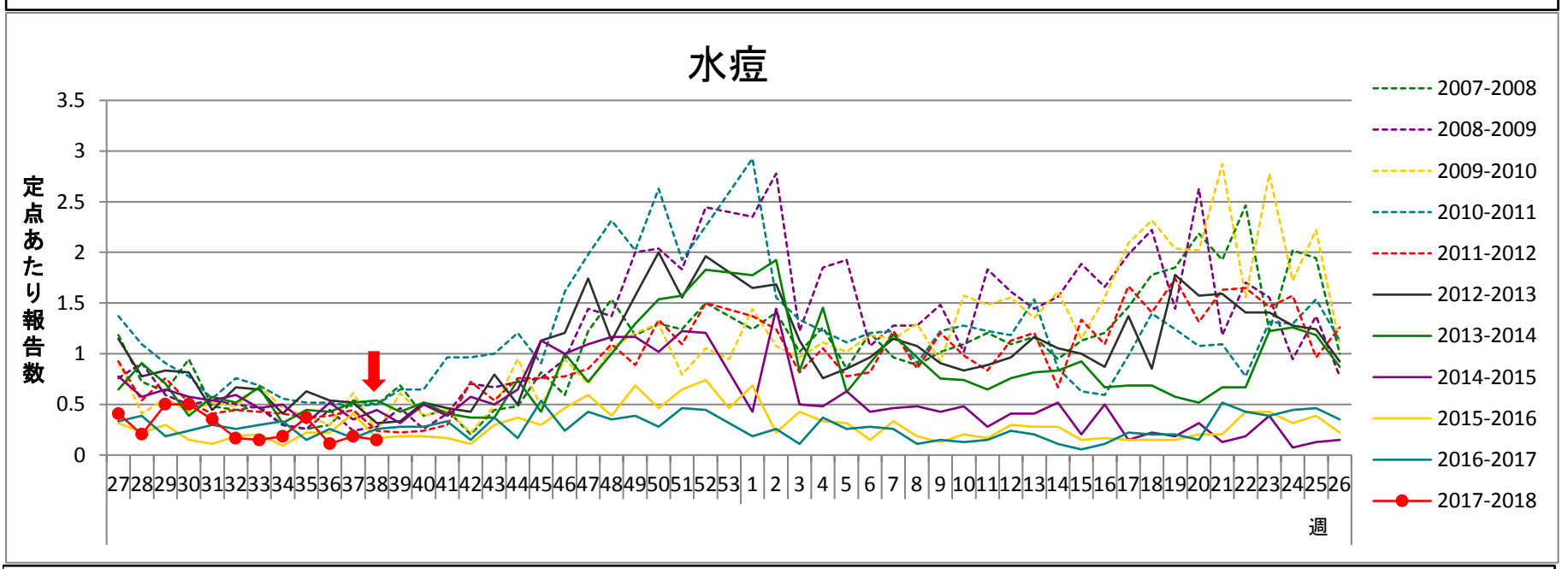

インフルエンザ
定点あたり報告数
70
60
50
40
30
20
10
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017
2017-2018

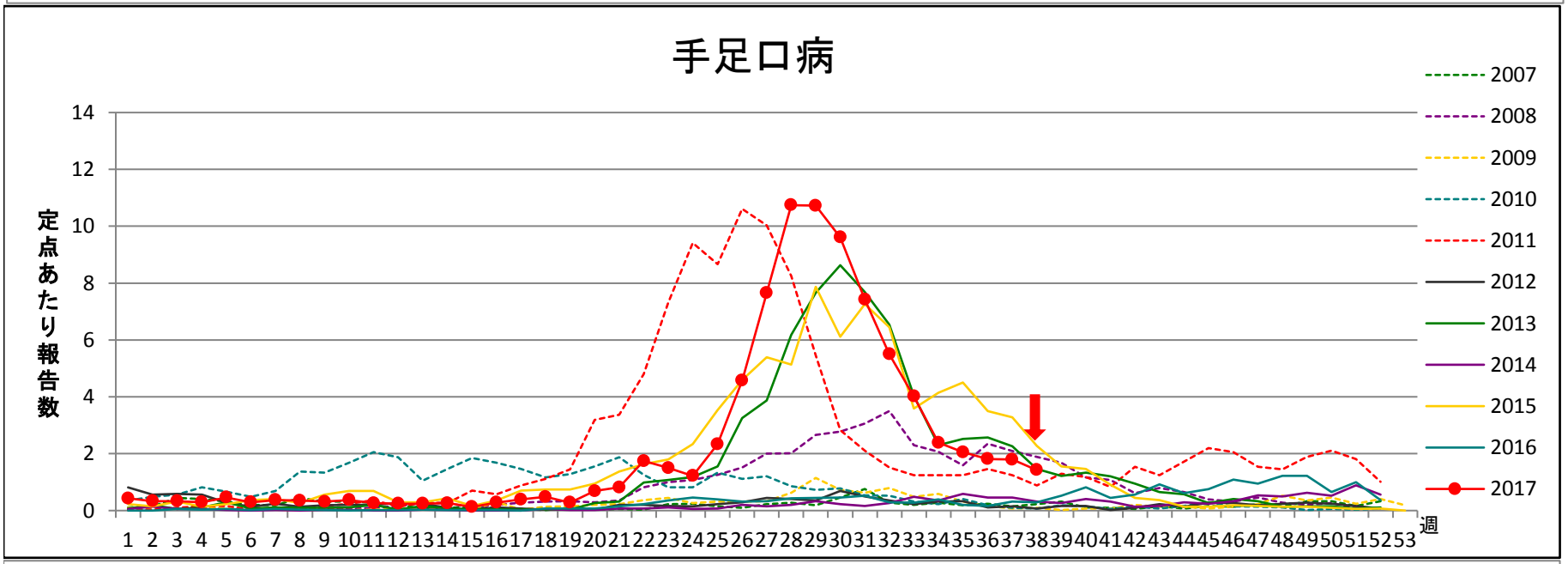

RSウイルス感染症
定点あたり報告数
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017
2017-2018

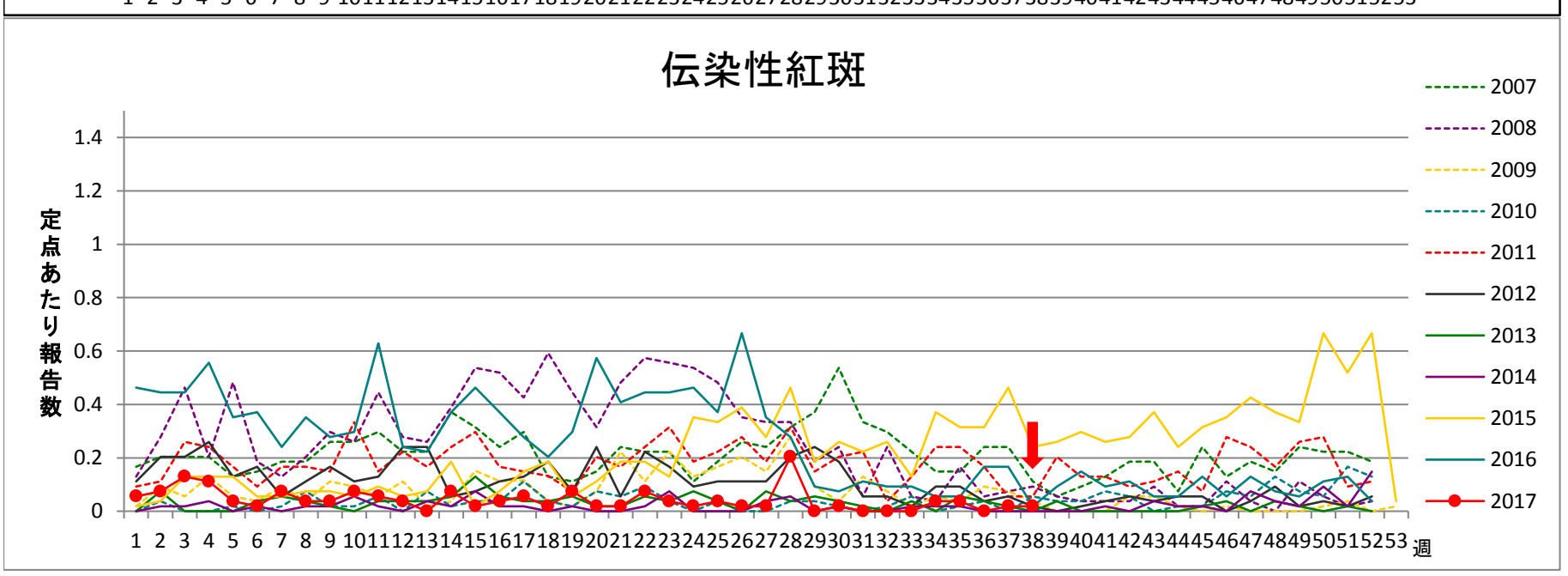

咽頭結膜熱
定点あたり報告数
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

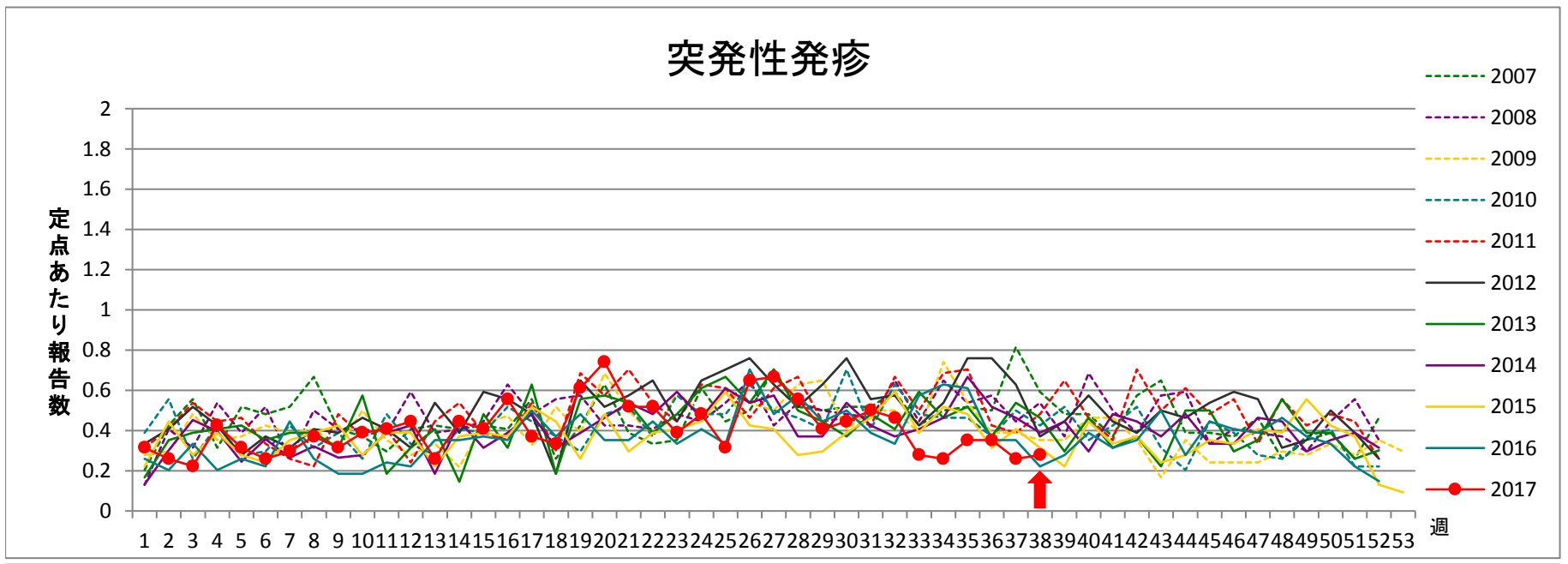

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点あたり報告数
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017
2017-2018

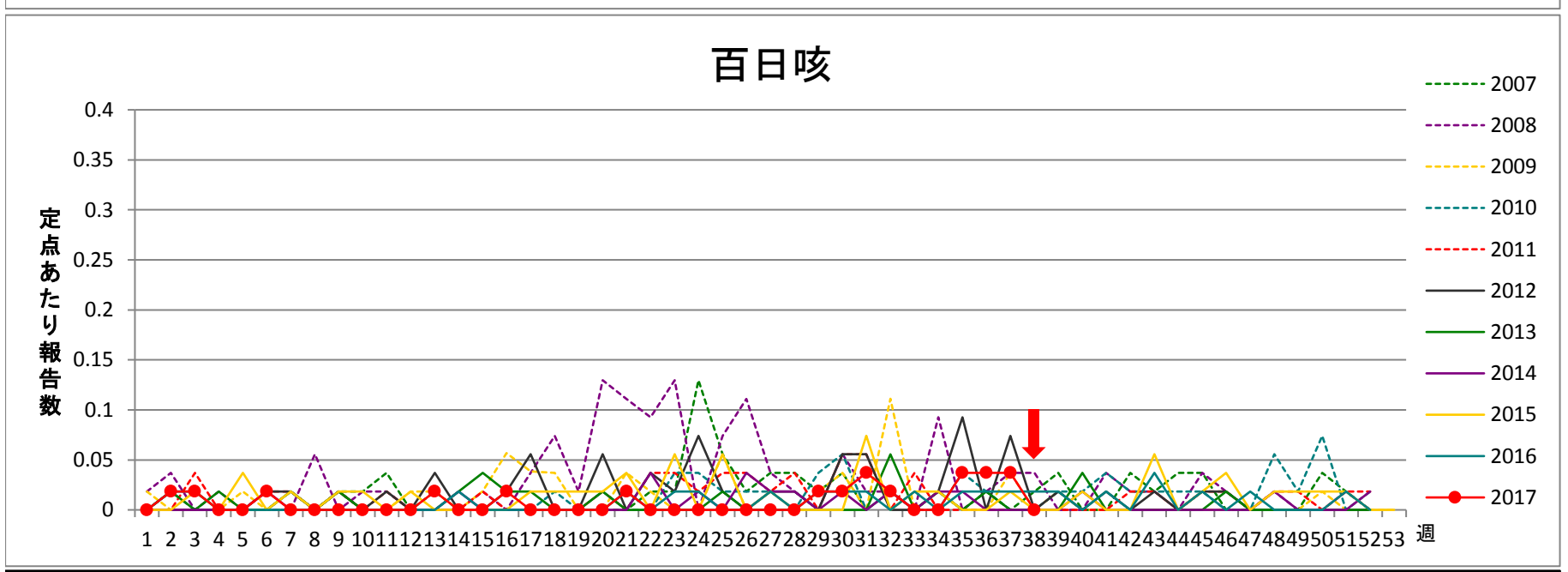

感染性胃腸炎
定点あたり報告数
0
5
10
15
20
25
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017
2017-2018

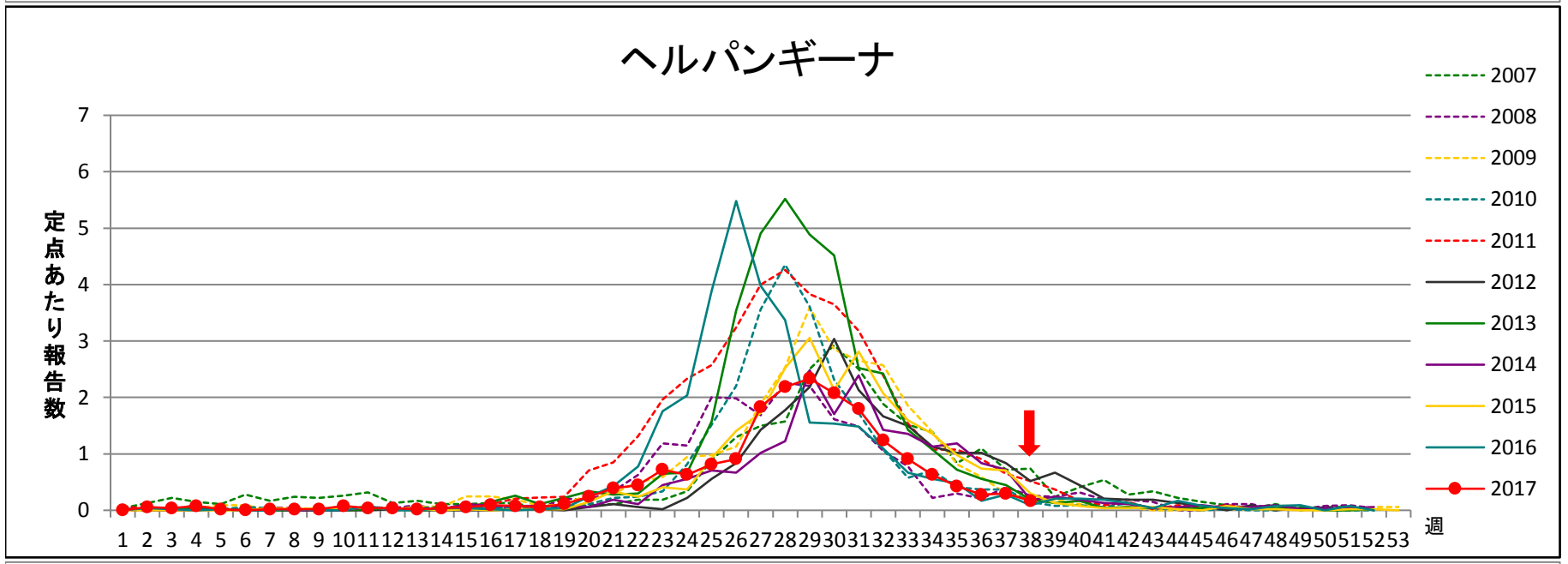

水痘
定点あたり報告数
0
0.5
1
1.5
2
2.5
3
3.5
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017
2017-2018

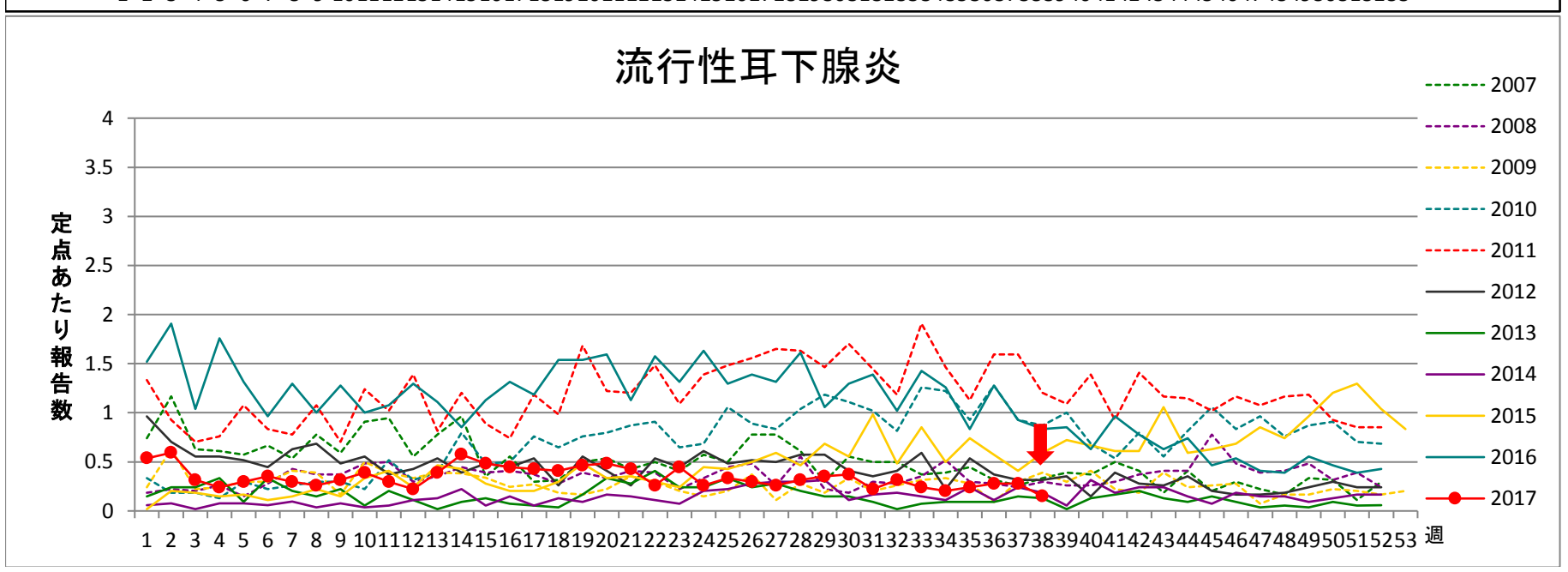

手足口病
定点あたり報告数
0
2
4
6
8
10
12
14
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

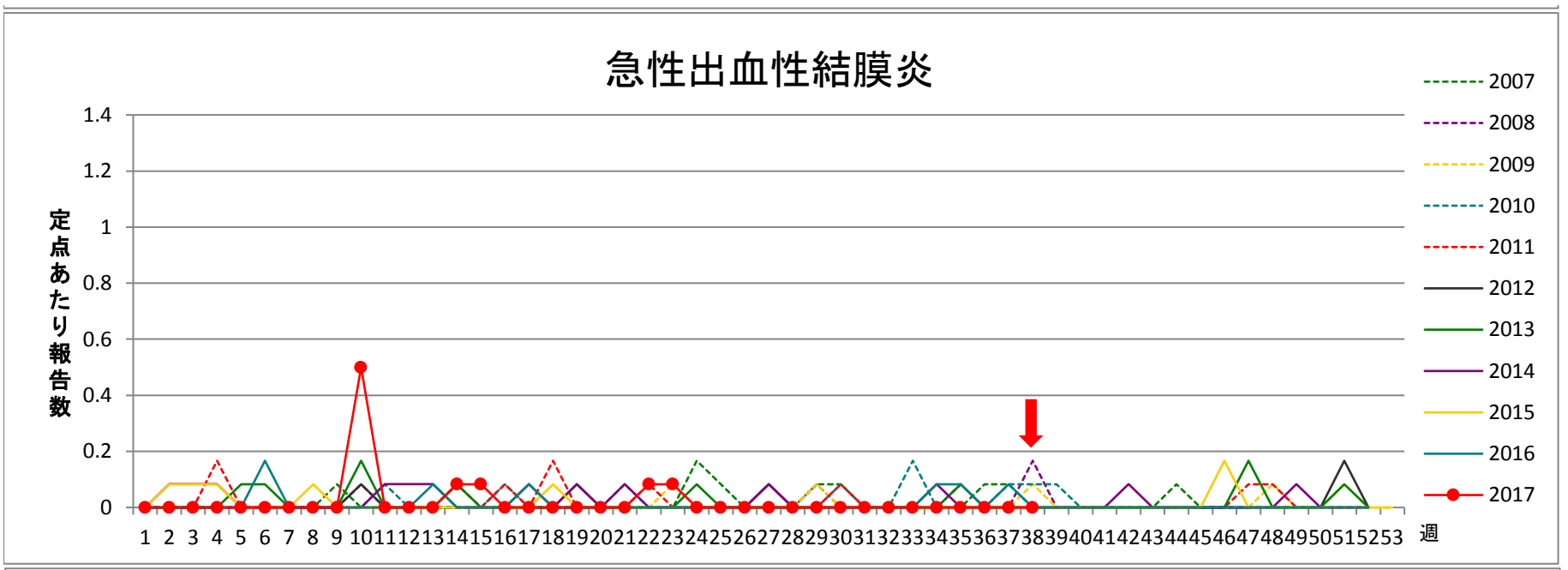

伝染性紅斑
定点あたり報告数
0
0.2
0.4
0.6
0.8
1
1.2
1.4
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

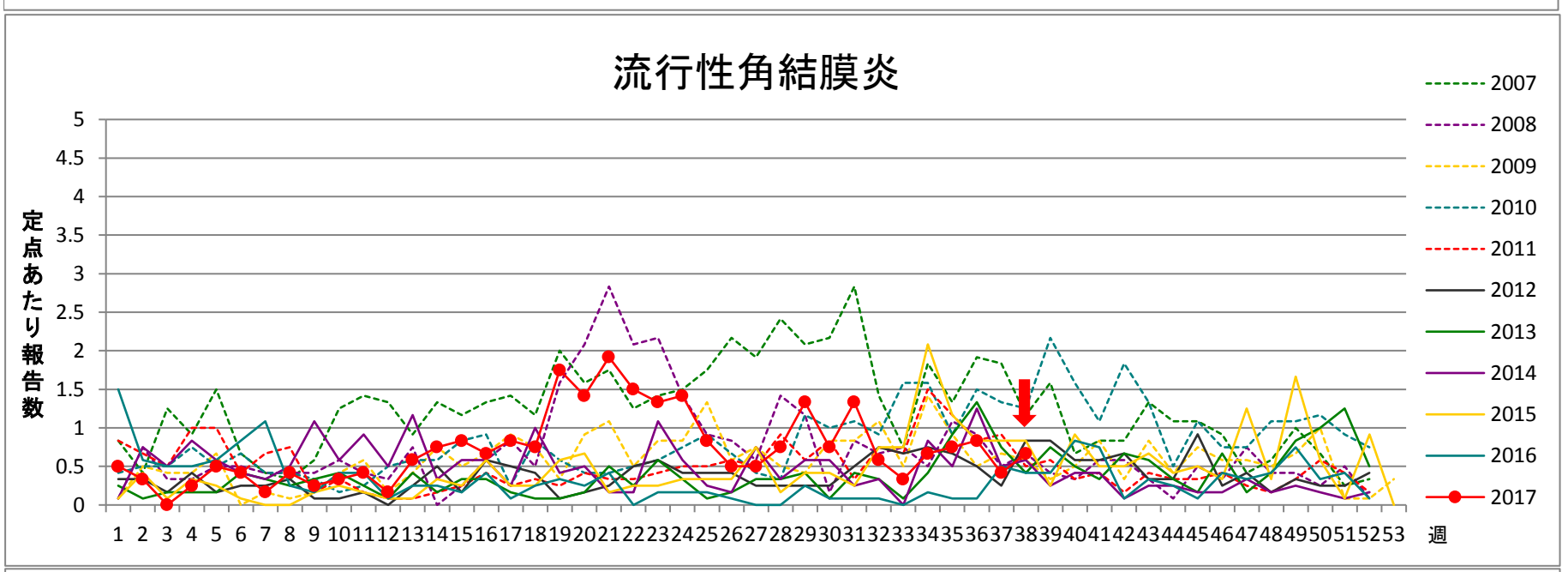

突発性発疹
定点あたり報告数
2
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

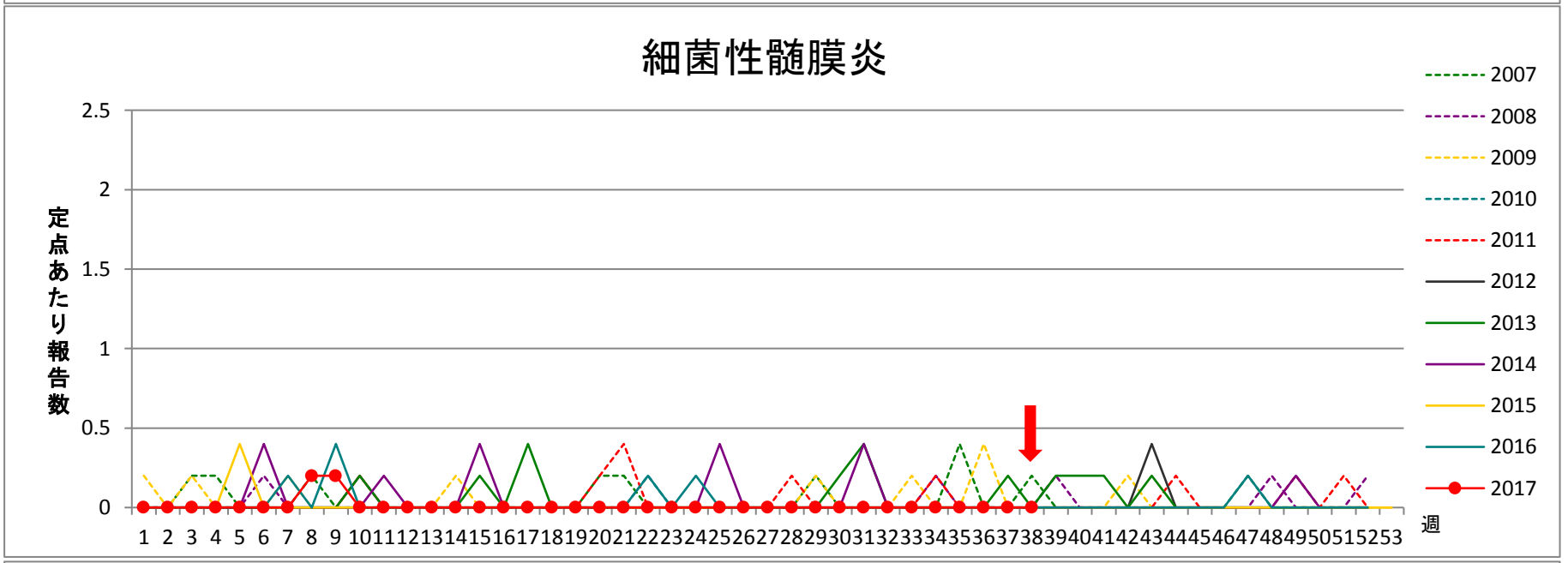

百日咳
定点あたり報告数
0.4
0.35
0.3
0.25
0.2
0.15
0.1
0.05
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

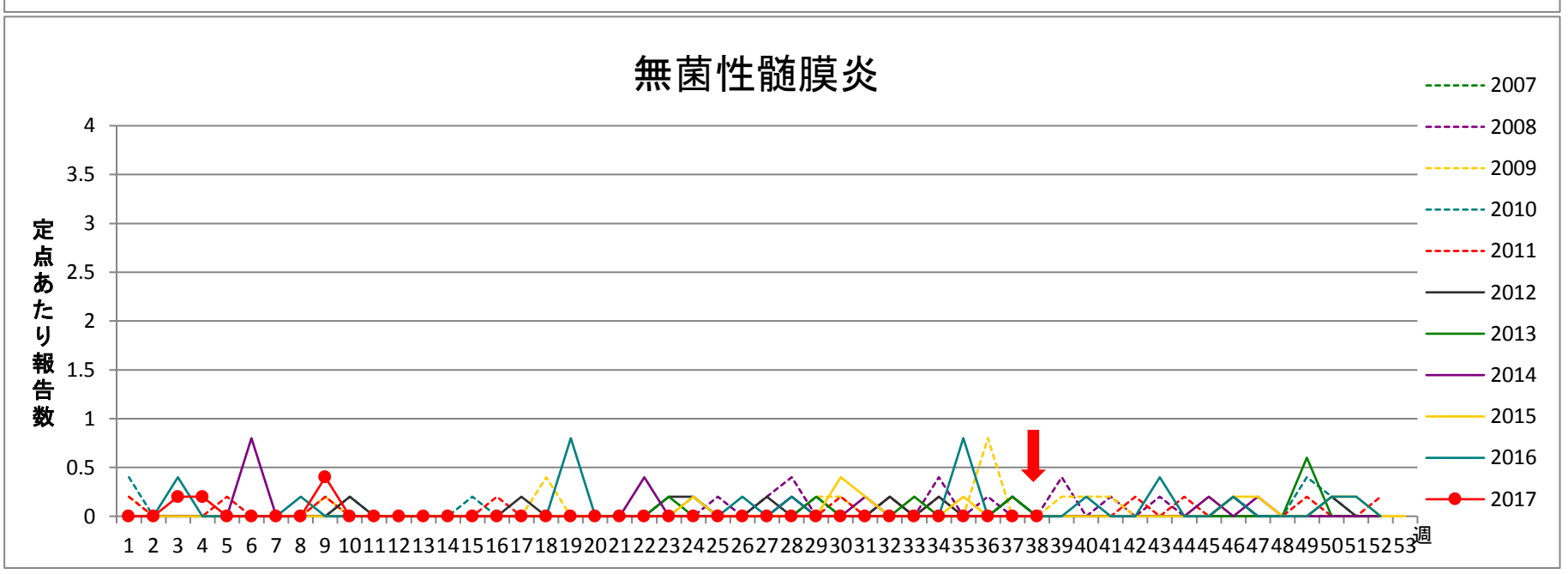

ヘルパンギーナ
定点あたり報告数
7
6
5
4
3
2
1
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017


流行性耳下腺炎
定点あたり報告数
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

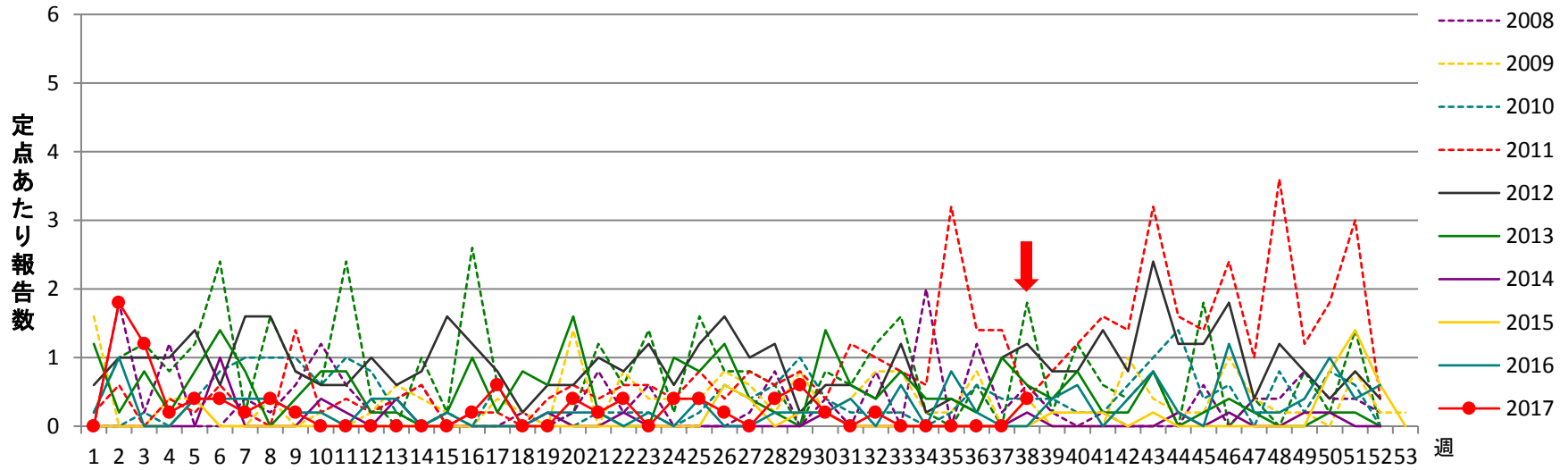

急性出血性結膜炎
定点あたり報告数
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017


流行性角結膜炎
定点あたり報告数
5
4.5
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

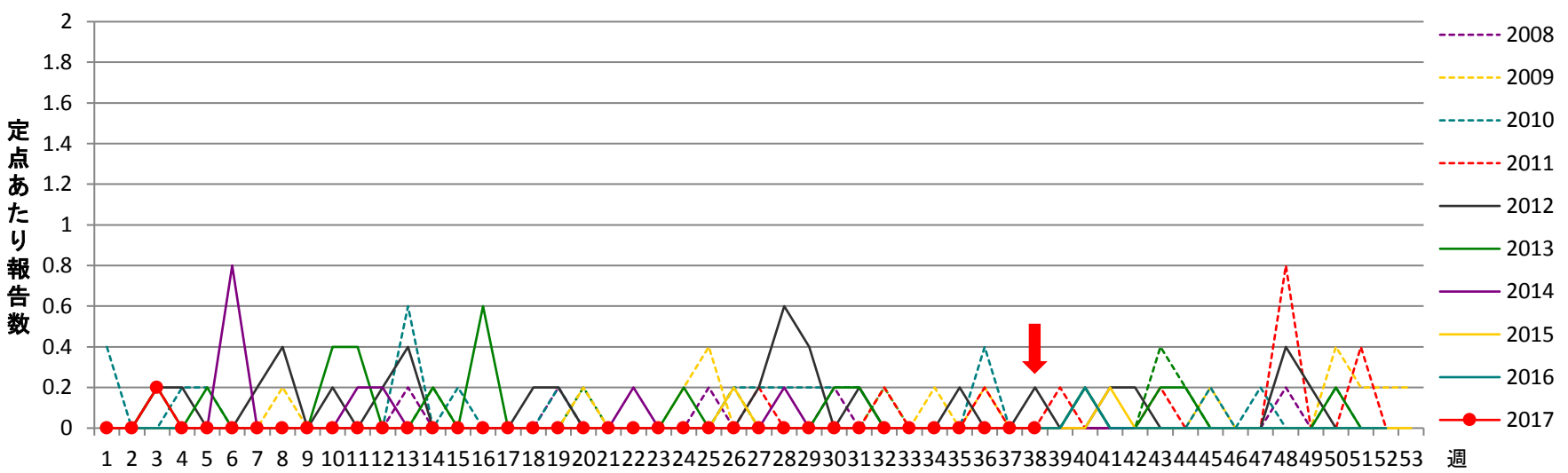
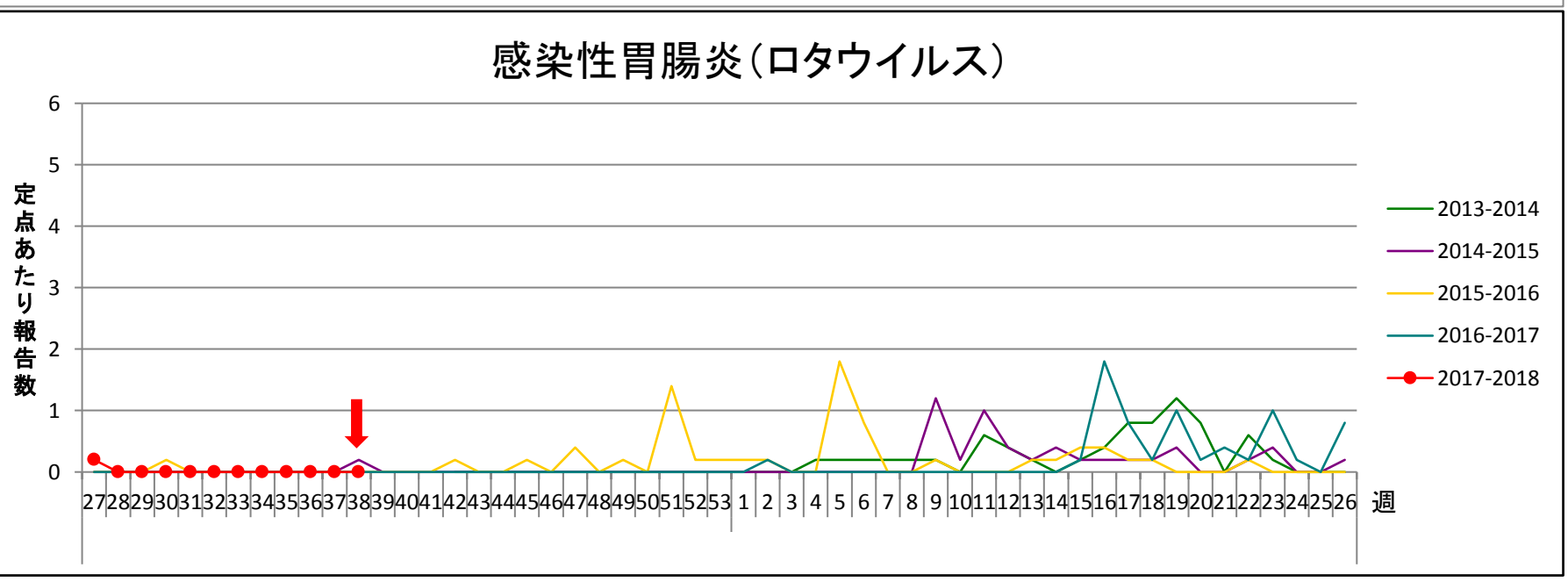

細菌性髄膜炎
定点あたり報告数
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017


無菌性髄膜炎
定点あたり報告数
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎（ロタウイルス）